環境経営レポート

２０２３ 年 次 版

2024 年 2 月 20 日　発行

対象期間
2022 年 12 月 1 日～2023 年 11 月 30 日

有 限 会 社 屋 敷 治 二 商 店

〒379-0116 群馬県安中市安中 5 丁目 1 番 39 号
［電話］027-382-3434　［FAX］027-382-5301

Ⅰ.　環境経営方針

環境理念

有限会社屋敷治二商店は、一般廃棄物及び産業廃棄物の収集運搬、処分業、
金属再生業の事業活動を通して、地球と地域の環境の保全に貢献します。

環境経営方針

1. 環境経営に積極的に取組むために、環境経営システムを構築し、環境経営目標を定めて実行し、
定期的な見直しを行いながら、継続的な改善に取組みます。

2. 環境への取組みとして、特に次の事項に取組みます。
- 廃棄物から有価物を収集し、再生利用効率の向上
- 廃棄物の適正処理と情報開示
- 循環型社会形成のための社会貢献
- 企業ブランド価値の向上

3. 環境関連法規制等を遵守します。

4. 環境経営システムの内容を、全社員に周知徹底し、環境に対する意識の向上に努めます。

改定日：令和３年１月６日
有限会社屋敷治二商店
代表取締役　和泉澤　賢治

II. 事業活動の概要

（1）事業所名及び代表者名
有限会社屋敷治二商店
代表取締役　和泉澤　賢治

（2）所在地
① 本　　社：群馬県安中市安中五丁目 1 番 39 号（登記上の機能のみ）
② 原市工場：群馬県安中市原市字悪途久保東 71 番 1（当該地）
③ 人見工場：群馬県安中市松井田町人見 1475-1

（3）設立年月日
昭和 41 年 6 月 14 日

（4）資本金
300 万円

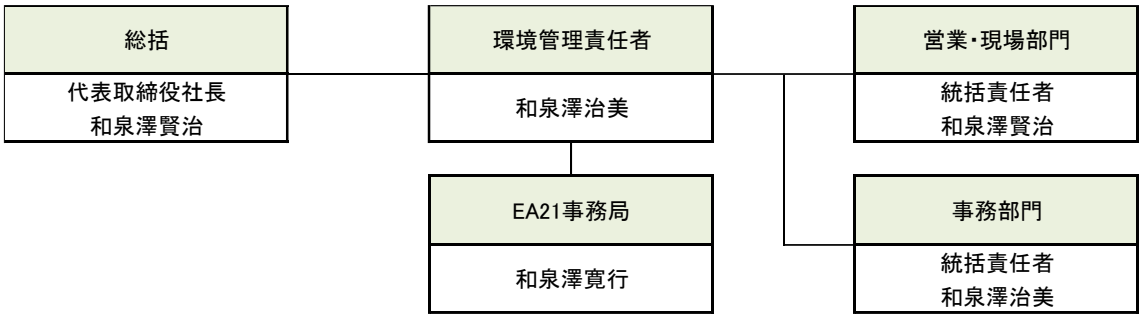
（5）対象範囲
全組織・全活動を対象範囲とする。

（6）事業内容
金属・古紙・プラスチック再生業
産業廃棄物収集運搬業
産業廃棄物中間処分業（圧縮、圧縮せん断）
一般廃棄物収集運搬及び中間処分業

（7）売上高
16,800 万円（2023 年次）

（8）環境管理責任者及び連絡先
役　職：取締役
氏　名：和泉澤　治美
連絡先：027-382-3434

（9）組織図（総従業員数　12 名）内訳：役員 2 名、正社員 6 名、パート 4 名



（１０）事業の許可内容及び施設等の状況

【一般廃棄物収集運搬業】

許可自治体名	安中市
許可番号	安中市第 11 号
許可年月日	令和４年８月１日
許可期限日	令和６年７月 31 日

【一般廃棄物処分業】

許可自治体名	安中市	
許可番号	安中市第 38 号	
許可年月日	令和４年６月１日	
許可期限日	令和６年５月 31 日	
設置場所	群馬県安中市原市字悪途久保東 71-1、72-1	
取扱品目及び処理能力	選別（4.0ｔ/日）	不燃ごみ 金属くずが付着・混入したプラスチック、木材、ガラス等

【産業廃棄物収集運搬業】

許可自治体	許可番号	許可年月日	許可期限	取扱許可品目																
				燃え殻	汚泥※2	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類※1※2	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	ゴムくず	金属くず※2	ガラスくず、コンクリートくずおよび陶磁器くず※1※2	鉱さい	がれき類※1	ばいじん
群馬県	0100009179	令和4年12月22日	令和11年12月21日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
埼玉県	0110409179	令和5年2月1日	令和12年1月21日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
栃木県	0090009179	令和4年3月30日	令和9年3月29日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※1石綿含有産業廃棄物を含む。　　※2水銀使用製品産業廃棄物を含む。

【産業廃棄物処分業】

許可自治体名	群馬県	
許可番号	01020009179	
許可年月日	令和３年９月５日	
許可有効期限	令和 10 年９月４日	
設置場所	群馬県安中市原市字悪途久保東 71-1、72-1	
取扱品目及び処理能力	圧縮（40.0ｔ/日）	廃プラスチック類、木くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず
	圧縮せん断（69.9ｔ/日）	廃プラスチック類、木くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類
処理方式	油圧２方締方式	

【産業廃棄物処分業の保管能力】

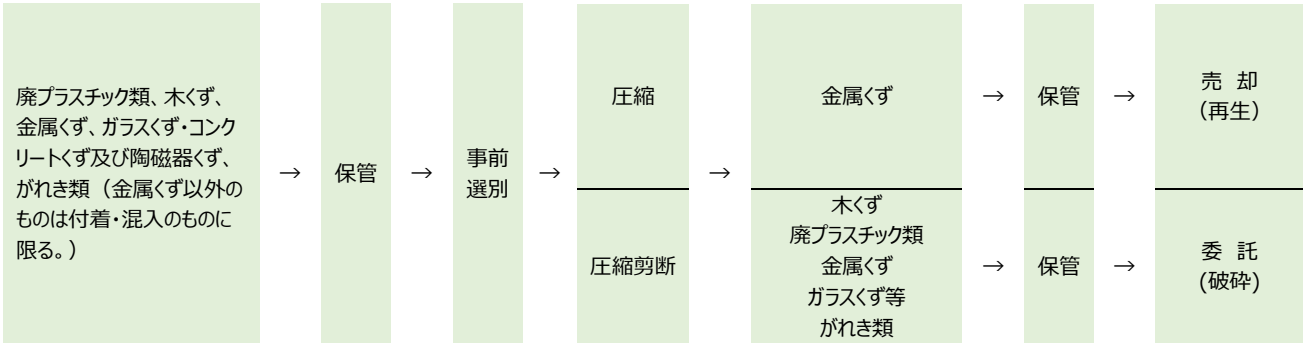
廃棄物の種類	処理前後	面積（㎡）	容量（㎥）	高さ（m）
混合くず※1	処理前	291.88	104.53	3.0
金属くず	処理前	40.00	26.60	2.0
金属くず※2	処理後	184.50	141.78	2.4
金属くず※3	処理後	18.00	10.15	0.9
廃プラスチック類	処理後	4.00	4.80	1.2
木くず	処理後	4.00	4.80	1.2

※1　廃プラスチック類、木くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類の混合
※2※3　機械の大小によって分けている。

【収集運搬車両及び処理設備等の種類】

収集運搬車両	キャブオーバ	5台	重機等	油圧ショベル	3台
	塵芥車	1台		フォークリフト	6台
	脱着装置付コンテナ専用車	2台		ショベルローダー	1台
	ウィングボディ車	1台			
処理設備	キルドシャー	1基	圧縮せん断：処理能力　34.7t/日	合計 69.9 t /日	
	ダブリング	1基	圧縮せん断：処理能力　35.2t/日		
	プレス機	1基	圧縮：処理能力　40.0t/日		

【処理工程図】



（１１）産業廃棄物処分業処理実績、収集運搬業実績（2022 年 12 月～2023 年 11 月）

処理方法等		廃棄物等種類	処分方法等	処理量（t）
（ｉ）収集運搬		廃プラスチック類		224.43
		木くず		205.84
		金属くず		0.50
収集運搬量合計				430.77
（ⅱ）中間処理		廃プラスチック類	圧縮、圧縮・せん断	91.59
		金属くず	圧縮、圧縮・せん断	3.26
	うち再資源化等	金属くず		24.31
		再資源化等量小計		24.31
中間処理合計				94.85
（ⅲ）最終処分				
最終処分量合計				0.0
（ⅳ）中間処理後の産業廃棄物	最終処分			
	再資源化等	廃プラスチック類	再生	70.54
		再資源化等量小計		70.54
中間処理後処分量合計				70.54

（１２）一般廃棄物処分業処理実績（2022 年 12 月～2023 年 11 月）

中間処理		金属くず	選別	10.74
	うち 再資源化等	金属くず		10.74
		再資源化等量小計		10.74
中間処理合計				10.74

※運搬実績はなし。

（１３）廃棄物処理料金

収集運搬料金…種類、量、距離により計算

処分料金…種類、量により計算（無料にてお見積もり）

III. 取り組み状況の確認及び評価

（１）環境経営目標

	環境経営目標項目 （負荷の自己チェックを踏まえて策定）	責任部門	基準 （2021年度実績）		2022 年次	2023 年次	2024 年次
二酸化炭素排出量	電力 取扱量1tあたりの CO2排出量の削減	総務 原市工場 人見工場	取扱量 3,311 t	基準年度比	100%	99%	98%
				目標値	7.37 kg-CO2	7.30 kg-CO2	7.22 kg-CO2
			使用量 55,329 kWh	達成手段	空調温度の適正化（冷房28℃ 暖房25℃） 自主点検、整備の実施 処理施設の効率的使用 昼休みの不要電源オフ	空調温度の適正化（冷房28℃ 暖房25℃） 自主点検、整備の実施 処理施設の効率的使用 昼休みの不要電源オフ 環境負荷低減可能な設備等の調査 事務所建替に伴うエネルギー使用量削減	空調温度の適正化（冷房28℃ 暖房25℃） 自主点検、整備の実施 処理施設の効率的使用 昼休みの不要電源オフ 環境負荷低減可能な設備等の調査 事務所建替に伴うエネルギー使用量削減
			CO2排出量 24,400 kg-CO2 排出係数 0.441 1tあたり排出量 7.37				
	ガソリン、軽油及び灯油 取扱量1tあたりの CO2排出量の削減	原市工場 人見工場	使用量 ガソリン 2,266 L 軽油 23,758 L 灯油 153 L	基準値	20.22 kg-CO2	20.22 kg-CO2	20.22 kg-CO2
				目標値	100 %	基準値 以下	基準値 以下
				達成手段	アイドリングストップ エコドライブ 自主点検、整備の実施、過積載運行の防止 安全運転の徹底、運搬経路の見直し	アイドリングストップ エコドライブ 自主点検、整備の実施、過積載運行の防止 安全運転の徹底、運搬経路の見直し CO2排出量の見える化による意識付け	アイドリングストップ エコドライブ 自主点検、整備の実施、過積載運行の防止 安全運転の徹底、運搬経路の見直し CO2排出量の見える化による意識付け
			CO2排出量 66,934 kg-CO2 1tあたり排出量 20.22 ※2023年次より灯油を追加				
廃棄物排出量	一般廃棄物、 産業廃棄物の削減	総務 原市工場 人見工場	※2023年次より追記			※今期の結果を基に次年度目標を策定する	＊＊＊＊＊
水使用量削減	水使用量の削減	総務 原市工場 人見工場	使用量 229 ㎥	基準年度比	100%	99%	98%
				目標値	229 ㎥	227 ㎥	224 ㎥
				達成手段	洗車時・事務所の節水	洗車時・事務所の節水 クーリングタワー点検、清掃	洗車時・事務所の節水 クーリングタワー点検、清掃
受託した廃棄物の処理における環境配慮		全部署	※2023年次より追記	達成手段		最新の排ガス規制や騒音規制に適合した車両、設備への更新 車両、施設稼働状況等の継続的な記録	最新の排ガス規制や騒音規制に適合した車両、設備への更新 車両、施設稼働状況等の継続的な記録
循環型社会形成の為の社会貢献		全部署		達成手段	会社周辺の毎月1回の清掃 市主催のボランティア回収に参加	事業所周辺の環境美化運動 地域の廃品回収への協力	事業所周辺の環境美化運動 地域の廃品回収への協力
廃棄物の適正処理と情報開示	優良認定の継続	全部署	※2023年次より追記	達成手段		廃棄物処理法他関係法令の遵守、情報公開	廃棄物処理法他関係法令の遵守、情報公開

排出係数　電力※調整後排出係数使用　0.441 kg-CO2/kWh　東京電力エナジーパートナー株式会社　－R１年度実績－　R3.1.7環境省・経済産業省公表、R3.7.19一部追加・更新

ガソリン　2.32 kg-CO2/L

軽油　2.58 kg-CO2/L

灯油　2.49 kg-CO2/L

※「受託した廃棄物の処理における環境配慮」の目標設定については、今年度は数値化や指標等の検討に留まってしまった為、次年度目標に速やかに反映できるよう取り組んでいく。

（２）環境経営目標及びその実績

		基準		実績		
		2021年次		2022 年次	**2023 年次**	2024 年次
二酸化炭素排出量削減	CO2排出量	取扱量	3,311 t	3,963	**3,641**	
		総排出量	91,334 kg-CO2	103,371	**99,915**	
		tあたりの排出量目標	32.45 kg-CO2/t	27.47	**27.58**	
		tあたりの排出量実績	28.02 kg-CO2/t	26.08	**27.44**	
		判定		○	○	
	電力	電力量	55,329 kWh	62,186	**58,296**	
		排出量	24,400 kg-CO2	27,424	**25,709**	
			基準年度比	100%	**99%**	
		目標値	7.37 kg-CO2/t	7.37	**7.30**	
		実績値	7.37 kg-CO2/t	6.92	**7.06**	
		判定		○	○	
	化石燃料	ガソリン	2,266 L	2,184	**1,341**	
		軽油	23,758 L	27,474	**27,378**	
		灯油	153 L	247	**185**	
		排出量	66,934 kg-CO2	75,947	**74,206**	
			基準値(kg-CO2/t)	20.22	**20.22**	
		目標値	20.22 kg-CO2/t	20.22 以下	**20.22 以下**	
		実績値	20.22 kg-CO2/t	19.16	**20.38**	
		判定		○	×	
廃棄物排出量		一般廃棄物	可燃ごみ kg		**440**	
		産業廃棄物	廃プラスチック類 kg		**13,890**	
			木くず kg		**5,500**	
			スクラップ残渣 kg		**5,460**	
水使用量削減			基準年度比	100%	**99%**	
		目標値	229 ㎥	229	**227**	
		実績値	229 ㎥	225	**204**	
		判定		○	○	

排出係数
電力※調整後排出係数 0.441 kg-CO2/kWh －Ｒ１年度実績－ R3.1.7環境省・経済産業省公表、R3.7.19一部追加・更新
ガソリン 2.32 kg-CO2/L
軽油 2.58 kg-CO2/L
灯油 2.49 kg-CO2/L

（３）環境経営計画の取組内容及び評価

評価基準：◎十分取り組んだ　○活動に取り組んだ　△改善の余地あり

	計画	取組内容	評価
二酸化炭素排出量削減	昼休みの消灯徹底、不要電源オフの徹底の継続	事務所及び原市工場内、人見工場内において意識して実践をした。	◎
	冷房28℃、暖房25℃の温度徹底	夏季の冷房効果を上げるため事務所内に扇風機を設置し空気循環を心掛けた。	◎
	アイドリングストップ、エコドライブ	トラックやショベルローダー等の新車の機能を活用して積極的に省エネ運転を心掛けた。	◎
	自主点検・整備の実施、過積載運行の防止	不具合を発見した場合は速やかに管理者に報告すると共に修理対応する意識付けがされている。	◎
	安全運転の徹底（最高速度の厳守等）、運搬経路の見直し	継続して自社商品(コンテナ、回収BOXなど)の設置促進による効率的な配車運用を図る（追加予定有り）	○
	リサイクル施設における環境負荷低減を図ることが可能な設備等の調査	今年度は2023年4月及び10月に劣化診断を実施、現状での更油の必要は無いと判断された。引き続き劣化診断を実施し適切なタイミングで更新を図りたい。	○
	原市工場事務所建替に伴う電力使用量の削減	今年度は設計を進め、リサイクル素材の提案や断熱性能の向上、太陽光発電について確認した。	○
廃棄物排出量管理	コピー用紙削減（ペーパーレス化）	出来る範囲から少しずつペーパーレス化を進めているが時間を要する	△
	分別の徹底、廃棄物排出量の把握	継続して記録し管理できていた。	◎
	再生利用ルートの調査開拓	マテリアルリサイクル可能な廃棄物の情報収集や取引先との情報交換に努めた。	○
水使用量削減	洗車時、事務所節水の推進	掲示物等による周知。	○
	クーリングタワーの定期的な点検、清掃	今年度は冬季の凍結トラブルにより、定期的に点検清掃を実施したため、節水につながったと思われる。	◎
受託した廃棄物の環境配慮	最新の排ガス規制や騒音規制に適合した車両、設備への更新	今年度はショベルローダー1台を新型へ更新した。	○
	車両、施設稼働状況等の継続的な記録	継続して記録している。	○
循環型社会形成の為の社会貢献	事業所周辺の環境美化運動	草刈り等も含め周辺環境の維持に努めた。	○
	地域の廃品回収への協力	昨年度同様に地区の廃品回収へ協力し再生資源のリサイクルに努めた	◎
廃棄物の適正処理と情報開示	廃棄物処理法他関係法令の遵守、情報公開	2023年2月及び8月に産廃情報ネットを活用して情報公開を行っている	◎

（４）次年度追加計画

① 今期達成できなかった取扱量 1t あたりの化石燃料 CO2 排出量削減に向け、エネルギー使用量の詳細な内訳（車両、設備、稼働時間等）を把握しより効果的な対応策を検討する。

② 「受託した廃棄物の処理における環境配慮」、「廃棄物排出量」の目標を速やかに設定し取り組む。

IV．環境関連法規への違反、訴訟等の有無

（１）適用される主な環境関連法規

環境関連法規制等取りまとめ表(遵守評価記録)

法規制等の名称	要求事項等			届出報告資格				担当部署	遵守評価		
	許可施設設備	規制基準	監視測定	許可	届出報告	資格	届出先		証拠	判定日	判定
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	許可:産業廃棄物処分業(第14条第6項)	処理基準(第12条)	許可書	○		講習会修了者	各自治体	総務	許可証	2023/12/1	○
	設備:圧縮、圧縮剪断機	保管基準(第12条)	産業廃棄物委託契約書					総務	契約書許可証	2023/12/1	○
	許可:産業廃棄物収集運搬業(第14条第1項)	運搬基準(第12条)	(処分、収集運搬)	○							
	設備:運搬車両		マニフェスト		○		知事	総務	マニフェスト	2023/12/1	○
			(実績、交付状況報告)		○		知事	総務	報告書	2023/12/1	○
	許可:一般廃棄物処分業(第7条第６項)	処理基準(第6条の2)	許可書	○			安中市	総務		2023/12/1	○
	許可:一般廃棄物収集運搬業(第7条第1項)	運搬基準(第６条の2)	許可書	○			安中市	総務		2023/12/1	○
計量法	台貫:法定点検		1回/2年					総務	点検証明書	2023/12/1	○
騒音規制法	特定施設の届出(第6条) 地域別騒音基準の遵守	液圧圧縮機	新設/変更時 異常音の日常管理		○		安中市	総務	新設(有無) 届出書	2023/12/1 2023/12/1	○ ○
振動規制法	特定施設の届出(第6条) 地域別振動基準の遵守	液圧圧縮機	新設/変更時 異常音の日常管理		○		安中市	総務	新設(有無) 届出書	2023/12/1 2023/12/1	○ ○
浄化槽法	本社工場の浄化槽の保守点検,清掃	点検　年1回、　清掃　年1回						総務	定期点検、清掃	2023/12/1	○
	11条点検	年1回						総務	検査結果所	2023/12/1	○
９都県都市条例	対策地区内で排気ガス規制に適合した自動車の使用		トラック、塵芥車					総務	車検証、適合車マーク	2023/12/1	○
家電リサイクル法	廃家電の適切な処理		洗濯機、冷蔵庫					総務	家電リサイクル券	2023/12/1	○
フロン排出抑制法	第一種特定製品	点検修理、冷媒の充填回収等の履歴の記録	空圧機器(エアードライヤー)、エアコンディショナー					総務	簡易点検記録簿	2023/12/1	○

保管：環境管理責任者　　遵守評価の欄:確認した記録など記入　判定欄:○×(×の場合は問題点処置票により解決を図る)

（２）環境測定結果

対象：原市工場　産業廃棄物処理施設

騒音レベル測定結果	
測定日時	令和 5 年 10 月 31 日　9:25～10:30
測定方法	JIS Z 8731(2019)環境騒音の表示・測定方法
区域区分	第 2 種区域
時間区分	昼間
基準値(dB)	55
測定結果(dB)	54
適否	○

振動レベル測定結果	
測定日時	令和 5 年 10 月 31 日　9:25～10:30
測定方法	JIS Z 8375(1981)振動レベル測定方法
区域区分	第 1 種区域
時間区分	昼間
基準値(dB)	65
測定結果(dB)	51
適否	○

基準：　群馬県廃棄物処理施設の構造及び維持管理等に関する基準
特定工場等において発生する振動について規制する時間及び区域の区分ごとの規制基準(平成 24 年 4 月 1 日安中市告示第 59 号)
特定工場等において発生する騒音について規制する時間及び区域の区分ごとの規制基準(平成 24 年 4 月 1 日安中市告示第 55 号)

（３）違反、訴訟等

平成 19 年次（2007 年）～令和 5 年次（2023 年）において、環境関連法規への違反はありませんでした。
また、関係当局より違反等の指摘はありませんでした。

V.　代表者による全体評価と見直し

本年度は、昨年より取扱量が減少したが、電力使用量及び化石燃料使用量は増加傾向であった。水使用量は昨年度より大幅に削減されたが、これは主にクーリングタワーの清掃によるものと思われる。日々のメンテナンスの重要性を改めて実感した。電力使用量については、取扱量の変動による消費電力への関連性はあまり見られないことから、処理設備の消費電力、事務所冷暖房等による消費電力を切り分けて対策を検討する。化石燃料使用量の増加については、取扱量の増加やフォークリフト増車に伴う消費増によるものと思われ、今年度は CO2 排出量が目標未達となってしまった。今後、具体的な要因を洗い出し対策を検討していく。また、CO2 総排出量は基準年度に比べ増加しているので、現在の事業内容を継続しつつどのような形で排出量を削減できるか、外部コンサルティングと協力し解決策を見出していく。

今年度は EA21 事務局が設置され 2017 年度版ガイドラインへの対応を始めたが十分ではない。また、SDGs をはじめとする、昨今の環境に対する意識は大きく変化しており、時代に対応するべく引き続き環境経営力の強化に努めていく。

・環境経営方針　変更なし　　・環境経営目標　変更あり
・環境経営計画　変更あり　　・実施体制　　変更なし

＊＊＊